

# 指導案

## 2年 1組 計 26名

<p>本時のねらい 【焦点化】</p>	<p>ワラビーの診察するをする獣医さんの様子や気持ちについて、読み取ることができる。</p>	<p>指導の工夫 ◎評価方法・観点 ○個別の配慮・支援 ★前田スタンダード(☆具体的な手立て)</p>
<p>展開の工夫 【構造化】</p>	<p>○教師の発問、予想される児童の反応</p>	
<p>導入</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・にほんざるの治療について、確認する。</li> </ul> <p>おもしろそう</p> <p>バナナにくすりははさんだけど、よけてしまった。 くすりは はちみつにまぜていた。</p> <p>○今日も、「いつ」「いつどんなしごと」「なぜ」に気をつけて、読んでいきましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時の復習をする。</li> </ul>	
<p>めあて</p> <p>じゅういさんのしごとを しょうかいしよう！</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全員起立させ、読み終わった児童から座る。</li> </ul>	
<p>展開 1</p> <p>○5段落の音読をしましょう。 ○ワークシートに、わかったことを書き込みましょう。 (波線まで書き込む) ○獣医さん、ワラビー、レポーターのセリフを考えて書きましょう。</p> <p>＜獣医＞・無事に、はぐきのちりょうができてよかったです。 ・三人でやって、とてもたいへんでした。 ＜ワラビー＞・ちりょうは、とってもいたかったな。 ・はぐき、早くなおらないかな。 ＜レポーター＞・このように、じゅういさんは、はぐきがはれてしまったワラビーを、3人がかりでちりょうしているんですね。とてもたいへんそうですね。 ・このように、じゅういさんは、ばいきんが入って、はぐきがはれてしまったワラビーのちりょうをしているのですね。いびにちりょうがおわってよかったです。</p> <p>○3人組になって、セリフを読み合ひましょう。</p> <p>やめたい</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どの児童も最後まで読めるように、座っても音読を続けさせる。</li> <li>(焦) 「いつ」「どんなしごと」「なぜ」に気をつけて音読させる。</li> <li>(視) 拡大したワークシートを貼る。</li> <li>(共) 書き込んだ部分を、全体で確認する。</li> </ul> <p>★ワークシートに自分で考えたセリフを書き込ませる。(☆セリフを書き込めば、そのまま読めるワークシートの作りにする。)</p> <p>○書き込みができない児童には、キーワードになる語句を提示したり、書きやすいところから書くように声をかける。</p> <p>◎ワラビーの診察する様子を読み取り、獣医、動物、レポーターになって書くことができる。(発言・ワークシート)【読むこと】</p> <p>★書き込んだ台詞を、グループの中で役割を決めて、読み合う。 (視) 役割カードを立て、どの役をやるのかわかりやすくする。</p>	
<p>じゅういさんのしごとを しょうかいできました！</p>		
<p>展開 2</p> <p>○素敵なレポーターのいたグループに、前に出て発表してもらいます。内容の良いところを見つけながら聞きましょう。</p> <p>もっと知りたい</p> <p>最後のまとめで、ワラビーの治療についてよく分かりました。 ワラビーの痛い気持ちが伝わってきました。</p>	<p>(焦) 自分の考えと比べたり、内容の良いところを見つけたりしながら聞くように助言する。</p>	
<p>まとめ</p> <p>○今日の授業を振り返って、がんばりカードを書きましょう。</p>		